

# (帰宅困難者対策) 赤羽駅前滞留者対策 行動ルール

## 【目次】

1.	ルール策定の目的	1-1
2.	赤羽駅周辺における地域特性	2-1
3-1.	現地本部参集基準	3-1-1
3-2.	現地本部参集判断の考え方	3-2-1
3-3.	現地本部の活動フロー	3-3-1
3-4.	現地本部の活動内容	3-4-1
3-5.	現地本部の活動の留意事項	3-5-1
3-6.	現地本部各班の活動	3-6-1
3-7.	現地本部設置場所・イメージ	3-7-1
3-8.	現地本部備品一覧	3-8-1
3-9.	チラシ・ポスター(イメージ)	3-9-1
3-10.	滞留者支援マップ	3-10-1
4.	巻末資料	4-1

令和8年3月  
赤羽駅前滞留者対策協議会  
北区 危機管理室

# 1. ルール策定の目的

- 大規模な地震その他の災害の発生に伴い、鉄道・路線バス等の公共交通機関が運行を停止し、当分の間復旧の見通しが無い状況が発生し、赤羽駅周辺は多くの滞留者で混乱する恐れがある。
- このため、赤羽駅前滞留者対策協議会が中心となり駅周辺の滞留者の安全確保と混乱防止に取り組むため、具体的な役割分担や連絡体制、活動内容等を整理した地域の行動ルールとして、「赤羽駅前滞留者対策行動ルール」を策定した。

## 「地域の行動ルール」策定にあたっての基本的な考え方

- ・ **組織は組織で対応する（自助）**  
地域内の事業所、施設、学校等は、自らの所属する組織単位ごとに、従業員、来所者、学生等に対する取組みを行う。
- ・ **地域が連携して対応する（共助）**  
駅前滞留者対策協議会が中心となり、地域の事業者等が連携し取組みを行う。
- ・ **公的機関は地域をサポートする（公助）**  
区が中心となって、都、国と連携・協力して、地域の対応を支援する。

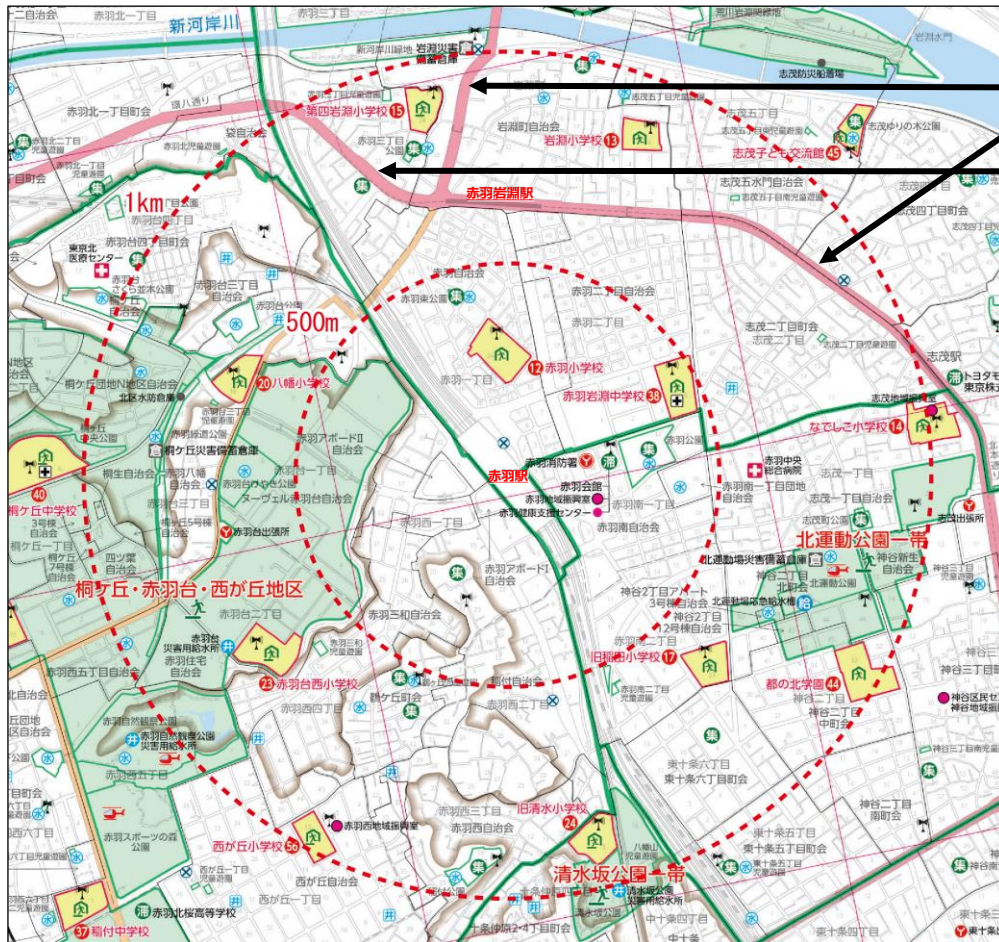
（出典）東京都北区帰宅困難者対策指針（令和6年3月）P.16

# 1. ルール策定の目的

## 発災時における各機関の基本的な役割

機関名	基本的な役割
駅前滞留者対策協議会 (現地本部)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 構成員との情報共有および構成員からの情報の集約</li><li>・ 区災害対策本部との情報共有</li><li>・ 駅前周辺の状況確認</li><li>・ 駅前滞留者への情報提供</li><li>・ 一時滞在施設への案内、誘導</li></ul>
区 (区災害対策本部)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 区立一時滞在施設への人員の派遣</li><li>・ 現地本部の開設・活動支援</li><li>・ 一時滞在施設の開設情報の集約および現地本部への情報提供</li><li>・ 現地本部への徒歩帰宅支援情報等の提供</li></ul>
鉄道事業者 交通関係事業者 河川管理者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 従業員、施設利用者の保護および一斉帰宅の抑制</li><li>・ 従業員、施設利用者に対する一時滞在施設への案内、誘導 ※施設内待機が困難な場合に限る</li><li>・ 駅前滞留者に対する一時滞在施設への案内、誘導</li><li>・ 現地本部および駅前滞留者への交通機関の運行状況、通行可能な道路の状況等に係る情報提供</li><li>・ 代替輸送手段の確保</li><li>・ 緊急輸送に係る協力</li></ul>
警察	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 駅周辺の混乱防止対策に係る支援の実施</li></ul>
消防	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 駅周辺の二次災害発生防止に係る支援の実施 (災害情報の提供等)</li></ul>
通信事業者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現地本部および駅前滞留者への通信網等に係る情報提供</li><li>・ 災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)、災害用伝言板等の利用に係る周知</li></ul>
産業団体 商店街振興会 商業施設 金融機関 医療機関 その他事業者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 従業員、施設利用者の保護および一斉帰宅の抑制</li><li>・ 一時滞在施設への案内、誘導 ※施設内待機が困難な場合</li></ul>
学校	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 児童、生徒の保護および一斉帰宅の抑制</li><li>・ 一時滞在施設への案内、誘導 ※施設内待機が困難な場合</li></ul>
一時滞在施設	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 一時滞在施設の開設、運営</li></ul>
周辺町会自治会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地区本部、避難所の開設、運営等</li></ul>

## 2. 赤羽駅周辺における地域特性



北本通り  
環八通り

主な凡例

	一時滞在施設
	都指定帰宅支援対象道路
	北区指定帰宅支援対象道路
	避難場所(火事から身を守るための場所)
	公園・児童遊園、緑地帯
	崖地

ベース図出典：北区防災地図（令和7年10月）

- 鉄道はJR赤羽駅（京浜東北線、上野東京ライン、湘南新宿ライン、埼京線が乗り入れ）、赤羽駅北側の500m～1km圏内に東京メトロ南北線の赤羽岩淵駅がある。また、バスは都営バス、国際興業バス、北区コミュニティバスが乗り入れている。
- 赤羽駅周辺には、半径2km圏内に「一時滞在施設」（行き場のない帰宅困難者を帰宅が可能になるまで一時的に受け入れる施設）が3ヶ所ある。（詳細はP3-4-4～5参照）
- JR赤羽駅から少し離れた位置にある北本通り、環八通りが「都指定帰宅支援道路」（災害時、徒歩で帰宅するために都が指定した道路）、北本通りと環八通りの交差点に接続する都道445号常盤台赤羽線が「北区指定帰宅支援対象道路」となっている。
- 「桐ヶ丘・赤羽台・西が丘地区」、「清水坂公園一帯」、「北運動公園一帯」は、火事から身を守るための「避難場所」に指定されている。
- JR赤羽駅西側には崖地があり、急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）が懸念される土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）が指定されている（右図）。



出典：北区土砂災害ハザードマップ（令和7年3月）

## 3-1. 現地本部参集基準

赤羽駅前滞留者対策協議会は次の基準に則り、滞留者対策に向けた活動を開始する。

### 【 現地本部の設置・参集基準 】

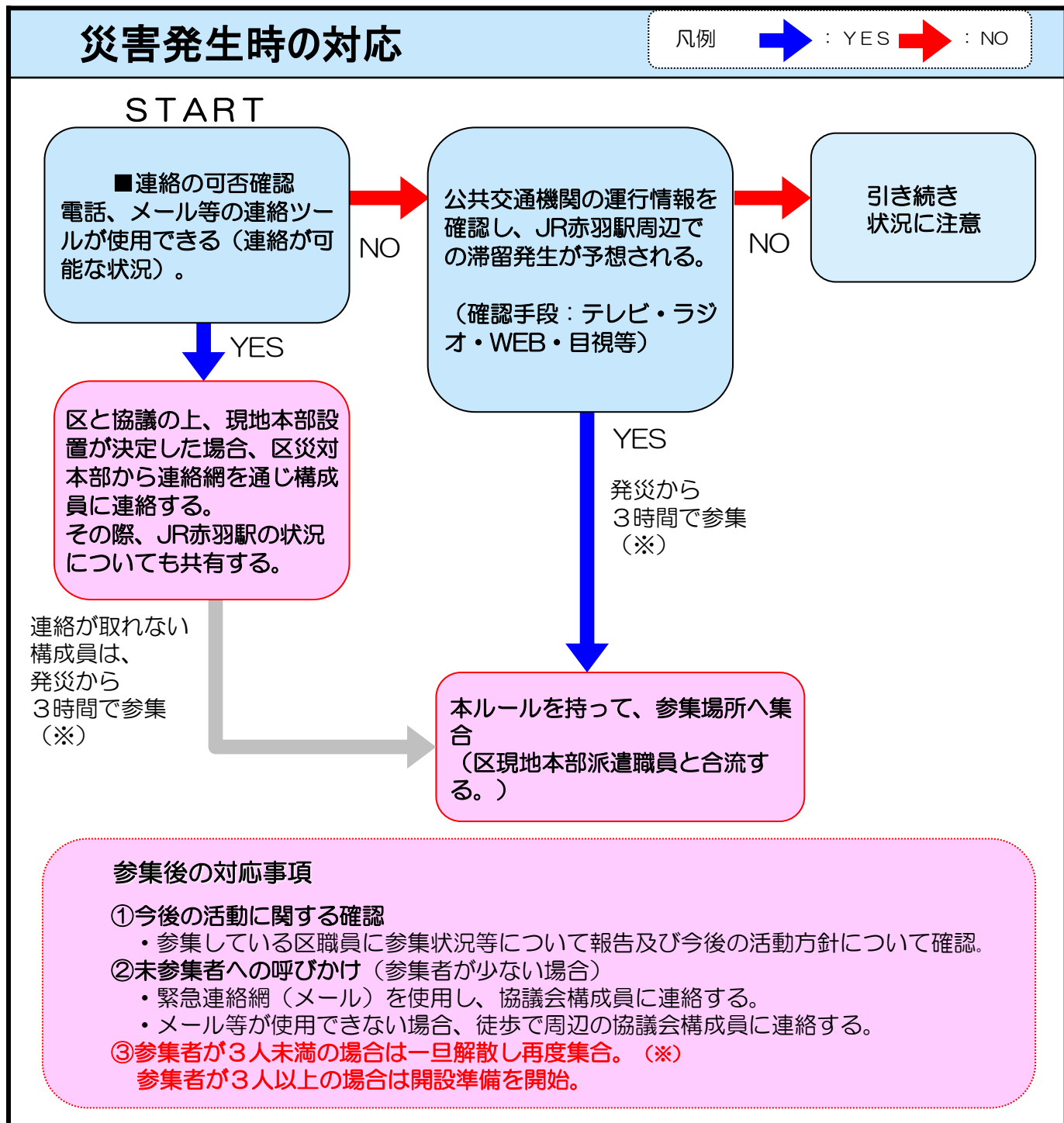
- 現地本部設置の前提：大規模な地震その他の災害の発生に伴い、  
鉄道・路線バス等の公共交通機関が運行を停止し、  
当分の間復旧の見通しがいいない状況が発生した場合
- 現地本部設置：① 区災害対策本部が設置を必要とする場合  
② 区災害対策本部が赤羽駅前滞留者対策協議会の  
構成員から要請を受けた場合  
上記①または②により、  
原則、区災害対策本部が赤羽駅前滞留者対策協議会会長  
と協議し、設置の決定を行う。
- 参集者：赤羽駅前滞留者対策協議会の構成員のうち、商店街振興会等・  
駅周辺商業施設（P4-3参照）の各事業者において、2名以上を  
派遣する※1
- 参集基準：現地本部の設置が決定し、区災害対策本部より  
キタコンDX（もしくは電子メールによる連絡）により  
連絡を受けた場合。（連絡を受けた後、参集者が何名で  
参加できるか回答する。）  
連絡がない場合は、次ページフロー図により**自動参集**とする。
- 参集場所※2：赤羽イノベーションサイト（以下、AIS）  
2階イベントスペース  
（開館時間：午前10時～午後8時、休館日：日・月（月  
が祝日の場合は営業し、次の平日に休館））  
閉館時は、区職員が持参する鍵を用いて開錠する。
- 参集の目標時間：発災から3時間

※1：各事業者・各組織は、あらかじめ複数の参集候補者を定めておき、可能な限り参集の目  
標時間内に参集場所へ2名以上を向かわせる。

※2：仮に参集場所が建物の倒壊等により使用できない場合、関係者で状況を確認の上、駅周  
辺で、天候に配慮した新たな参集場所を検討する。

## 3-2. 現地本部参集判断の考え方

### 【 参集判断の流れ 】



※：参集場所に協議会構成員がいらない又は参集者が3人未満の場合、参集者名と再集合時刻を掲示し一旦帰社する（既に他の協議会構成員による掲示があった場合はそれに従う）。再集合時刻の目安は次の正時（●時〇〇分）とする。

# 3-3. 現地本部の活動フロー

	活動の流れ		
	事業者	駅	
地震発生			
発災 ～ 2時間	<b>【STEP1】</b> <b>自分・所有施設・施設利用者の安全確保</b>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">           応急活動         </div>	
2時間 ～	<b>【STEP2】 現地本部への派遣を検討</b> 現地本部に人員を派遣できるか検討 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <span>派遣可能</span> <span>派遣不可</span> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">             自施設での災害対応を継続           </div>		
3時間 ～	<b>【STEP3】 現地本部設置場所に集合</b> AIS2階イベントスペースに集合 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <span>3人以上集合</span> <span>3人未満集合</span> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">             一旦解散し、次の正時に再集合           </div>		
～現地本部 立ち上げ等	<b>【STEP4】 現地本部立ち上げ</b> AIS2階倉庫から備品を運び出し現地本部を設営。 AIS閉館時は、北区職員が持参する鍵を使用する。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">↓</div> <b>【STEP5】 役割分担</b> ※各班の活動内容は、次ページ参照 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">↓</div>		
情報収集	<b>【STEP6】 情報収集（情報収集班）</b> 構成員、駅、区と連携し、以下の情報を収集（※） <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時滞在施設の開設状況</li> <li>・集客施設の受入整備状況</li> <li>・鉄道運行状況</li> <li>・被害状況</li> <li>・滞留者の状況</li> </ul>		情報連携 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">             運行情報の提供など           </div>
情報整理・ 提供	<b>【STEP7】 情報整理（情報整理班）</b> 収集した情報を整理し現地本部内で共有 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">↓</div> <b>【STEP8】 滞留者への情報提供・誘導 （情報提供班・誘導班）</b> 以下の情報を滞留者に提供し、一時滞在施設に誘導する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時滞在施設の開設状況</li> <li>・鉄道の運行状況</li> <li>・被害状況</li> </ul> 情報提供の際は、備品にある情報発信用のチラシを滞留者へ配布するとともに、一時滞在施設情報を掲載したポスターを掲示する。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">↓</div>		情報連携 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">             現地本部と連携した情報提供活動           </div>
現地本部の 撤収 ～8時間程度 （目安）	<b>【STEP9】 現地本部の縮小</b> 協議会（会長）と区災害対策本部が協議のうえ縮小を決定し、現地本部の機能を区災害対策本部に移行する。		

（※）情報収集・提供の優先順位

参集人数に応じて以下の順位で情報の収集・提供を行うものとする。

- ① 一時滞在施設等の開放状況（集客施設を含む） ② 交通機関の運行状況 ③ 周辺地域の被害状況

## 3-4. 現地本部の活動内容

### (1) 役割分担【STEP5】

以下を参考に役割分担を行う。

参集人数が少ない場合は、以下を優先して行う。

- ①一時滞在施設の開設状況の確認  
(区災害対策本部に電話もしくはキタコンDXで確認する。)
- ②区や駅より得た情報を駅前滞留者に提供する。(メガホンを使用して伝える。)
- ③開設している一時滞在施設に案内・誘導する。

役割	活動内容	必要想定人数
統括	①活動全般で指揮をとり、状況に応じた判断や指示を実施 ②一時滞在施設の開設状況など必要に応じて区と連絡調整	2名 (補佐1名含)
情報 収集班	①駅周辺の被災状況、滞留状況、鉄道運行状況(JR・東京メトロ)を確認 ②上記①についてトランシーバーで情報整理班へ報告 ③一時滞在施設の開設に関する情報収集 (電話もしくはキタコンDXで確認) ④集客施設の構成員に直接情報収集	3名
情報 整理班	①情報収集班、統括からの報告を踏まえた連絡票等の作成、大判地図に被災状況等の情報を整理 ②整理した情報を情報提供班へ報告	2名
情報 提供班	①一時滞在施設までの誘導ルートを決定 (誘導の順番はP3-4-3参照) ②情報整理班が整理した情報や上記①について滞留者への情報提供 (JR赤羽駅北・南改札の2ヶ所での情報提供、各改札の具体的な場所はP4-13参照)	2名
誘導班	①一時滞在施設までの案内、誘導 (JR赤羽駅北・南改札の2ヶ所での誘導、各改札の具体的な場所はP4-13参照)	2名

※役割が決定後、現地本部備品内のビブスを着用する。

※区派遣職員は、区災害対策本部との連絡、運営支援を行う。

※現地本部の状況に応じて、適宜休憩に使用できる場所を確保し、交代で休憩するなどして活動に取り組む。

## 3-4. 現地本部の活動内容

### (2) 情報収集【STEP6】

情報収集班を中心に滞留者対策に必要な下記の情報を収集する。

収集する情報の種類	作業内容	様式
滞留・被害の状況	駅構内や駅周辺に向かい目視確認	様式1 (P4-4)
鉄道運行状況	JR赤羽駅と連携し情報収集	様式2 (P4-5)
一時滞在施設の開設状況	区と連携し一時滞在施設の開設状況に関する情報収集	様式3 (P4-6)
集客施設の受入整備状況	集客施設を運営する協議会構成員より直接情報収集	

#### ※区への連絡について

区災害対策本部への報告・連絡・情報収集は、電話、または、区職員が持参したIP無線機（区の呼び出し番号3or4）、またはキタコンDXの掲示板機能を使用。なお、報告等を行う際は、「赤羽駅前滞留者対策協議会構成員」であることを名乗ること。（一時滞在施設開設状況確認以外の連絡については、情報収集用様式4（P4-7）に記録する。）

#### ※駅との連携について

JR赤羽駅からの情報収集は、駅事務室へ直接確認。（場所はP4-13参照）ただし、運行状況等は、キタコンDXで確認。

#### ※構成員間での連携について

参集後に各班に分かれて活動する場合は、トランシーバーを活用する。  
（使用方法はP4-14参照）

#### ※体調不良者、負傷者の対応について

区災害対策本部へ報告し、『災害時におけるタクシー・バス車両による緊急輸送協力に関する協定』により、緊急医療救護所への搬送を検討する。

### (3) 情報整理【STEP7】

- ・収集した情報は、情報の種類ごとに整理し、現地本部員で共有。  
（情報整理のためのホワイトボードレイアウトはP4-10参照）

# 3-4. 現地本部の活動内容

## (4) 情報提供【STEP8】

- ・現地本部で収集した情報及び一時滞在施設の開設情報を駅構内の滞留者に情報提供。  
(駅に連絡する際は様式5 (P4-11) 参照)  
ただし、参集人数に応じて駅周辺広場等で一時滞在施設の開設状況、地域の被害情報、鉄道運行情報の情報提供を行う。(駅周辺で情報提供(呼びかけ)する際はP4-12参照)
- ・上記に加え、駅周辺の滞留者に対し、情報発信用のチラシ配布及びポスター掲示を行う。  
配布するチラシは以下の情報を盛り込んだものとし、滞留者に聞かれた際には個別に説明を実施する。  
※チラシ配布はJR赤羽駅にある北区のチラシスタンドを使用する。  
※ポスター掲示場所はJR駅員と協議して決定する。  
※配布チラシのイメージはP3-9-1参照。掲示ポスターのイメージはP3-9-2参照。  
また、P3-10-1にある滞留者支援マップも、適宜活用する。

## ●北区防災ポータルサイト・防災アプリについて

北区では防災ポータルサイト・防災アプリで防災情報を発信しています。



【確認できる情報(一部抜粋)】

- ◇避難情報の発令
- ◇避難所の開設・混雑状況
- ◇防災気象情報
- ◇公共交通機関の運行状況
- ◇停電・断水等の状況
- ◇防災無線の内容 など

## ●スマートフォンによる一時滞在施設の受付について

東京都では、LINEアカウントと連携した帰宅困難者対策オペレーションシステムの運用を令和7年から開始しています。その中の1つに、滞留者が一時滞在施設を利用する際に、ご自身のスマートフォン上で簡単に受付ができる機能があります。

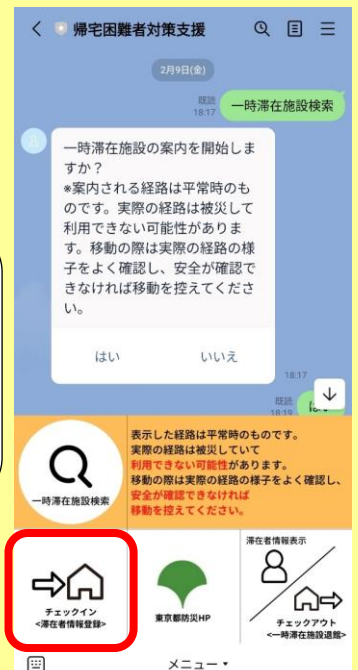
【受付の流れ】

- ①LINEアカウントの友たち登録
- ②チェックインをタップ
- ③滞在者情報を入力する
- ④入力内容を送信
- ⑤一時滞在施設の受付で画面を見せて、入場

【入力内容】

- ★氏名・郵便番号・住所
- ★電話番号
- ★性別・年齢・職業
- ★要配慮者かどうか
- ★スマホを持たない同伴者人数 など

チェックイン  
をタップ



## 3-4. 現地本部の活動内容

### <一時滞在施設の誘導の考え方>

公共施設（都・区）で、駅に近い一時滞在施設

※以下の一時滞在施設は、**区災害対策本部の依頼により施設と合意のうえ**、誘導を行う。

学校等で、駅に近い一時滞在施設

駅に近い収容力の大きい一時滞在施設

駅に近い収容力の小さい一時滞在施設

駅から遠い収容力の大きい一時滞在施設

駅から遠い収容力の小さい一時滞在施設

### <赤羽駅周辺の一時滞在施設一覧（誘導の考え方順）>

No	施設名	収容人員	住所	駅からの距離
1	(区) 赤羽会館	888	赤羽南1-13-1	500m以内
2	(都) 赤羽北桜高等学校	430	西が丘3-14-20	1km~1.5km
3	トヨタモビリティ東京(株)赤羽店	100	志茂3-14-5	1km~1.5km

※1 「No」列の数字は、次ページの図中番号と対応。

※2 上記施設で対応できない場合は、区内他施設に誘導する。

# 3-4. 現地本部の活動内容

## ＜赤羽駅周辺の一時滞在施設の位置＞



赤羽駅周辺の一時滞在施設

ベース図出典：北区防災地図（令和7年10月）

# 3-5. 現地本部の活動の留意事項

曜日、時刻により滞留者対策の状況が異なるため、その状況を踏まえて行動することとする。

＜曜日、時刻によるパターン別シナリオ＞

発災時刻	日中 (早朝から夕方)	夜間 (17時頃から終電)	深夜から早朝 (終電から始発、 概ね0時から朝5時)
曜日			
平日	<p>■パターン1</p> <p>①滞留者 少ない</p> <p>②帰宅困難者 帰宅抑制により発生する可能性が低い</p> <p>③協議会 構成員が集まりやすい</p> <p>④現地本部設置場所 利用可 (月曜の閉館時、8時の開館までは閉館しているため、区職員到着までは利用できない)</p> <p>⑤一時滞在施設 利用可</p>	<p>■パターン2</p> <p>①滞留者 多い</p> <p>②帰宅困難者 就学・就業時間後のため、発生する可能性がある</p> <p>③協議会 構成員不在の可能性が高い</p> <p>④現地本部設置場所 利用可 (月曜の閉館時、20時以降で閉館している場合は、区職員到着までは利用できない)</p> <p>⑤一時滞在施設 公共施設は利用可 (学校施設は、すぐに利用できない可能性がある。その他、民間施設は利用できない可能性がある)</p>	<p>■パターン4</p> <p>①滞留者 少ない</p> <p>②帰宅困難者 発生する可能性が低い</p> <p>③協議会 構成員不在の可能性が高い</p> <p>④現地本部設置場所 施設が閉館しており、すぐに利用できない可能性がある</p> <p>⑤一時滞在施設 公共施設(学校を除く)は、時間を要するが利用可。 (民間施設は利用不可)</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p>帰宅困難者対策の必要性は少ないと考えられるが、状況により(※)本部を設置し、行動ルールに基づき活動</p> <p>※現地本部設置が決定した場合 ※参集基準の「発災から3時間」は、適用しない。参集時間は、連絡網で連絡する。</p>
土曜日 日曜日 祝日	<p>■パターン3</p> <p>①滞留者 非常に多い</p> <p>②帰宅困難者 区内外問わず、非常に多く発生する可能性がある</p> <p>③協議会 構成員不在の可能性が高い</p> <p>④現地本部設置場所 利用可(土祝の開館時間以外、日曜は閉館しているため、区職員到着までは利用できない)</p> <p>⑤一時滞在施設 公共施設は利用可 (但し、学校施設はすぐに利用できない可能性がある) 民間施設については、営業形態によって異なる</p>		

○上記表中「現地本部設置場所」は、AISを想定

# 3-6. 現地本部各班の活動

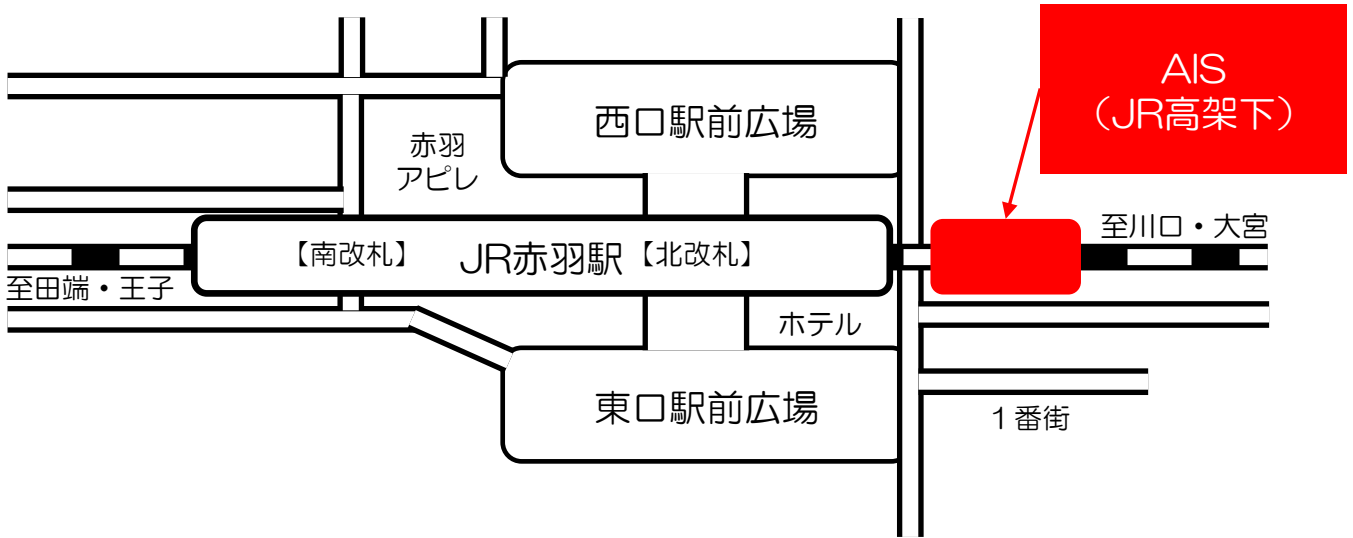
活動フローを踏まえた、各班の大まかな活動内容は以下のとおりである。

## <活動フローと各班の動きの例>

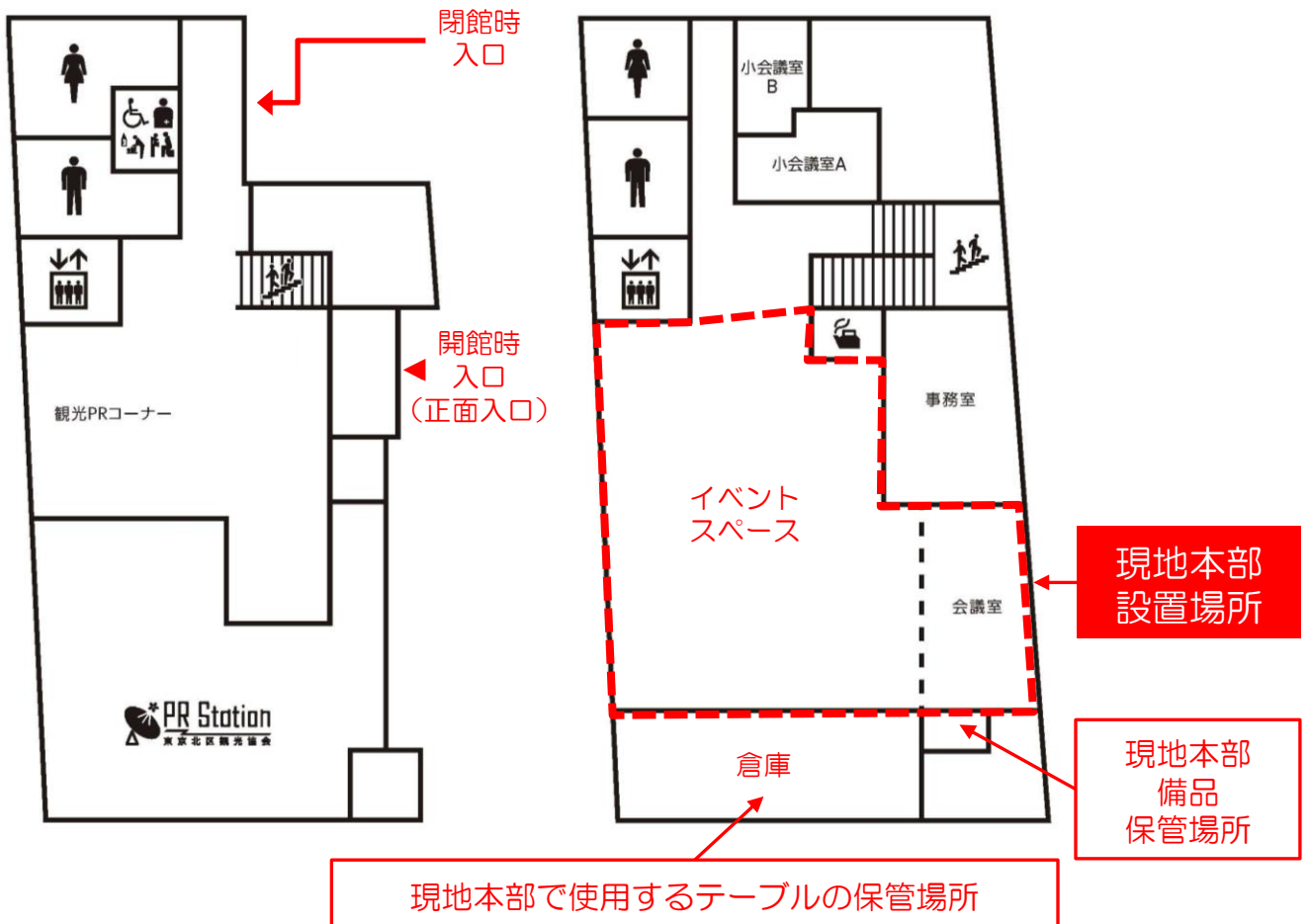
No	時間	活動内容	統括	情報収集班	情報整理班	情報提供班	誘導班	区職員	曜日、時刻による留意事項等	
1	発災 ～ 2時間	【STEP1】 自分・所有施設・ 施設利用者の安全 確保	各協議会構成員が安全確保							
2	2時間 ～	【STEP2】 現地本部への派遣 を検討	各協議会構成員が検討							
3	3時間 ～	【STEP3】 現地本部設置場所 に集合	開設（参集が3人未満の場合は一旦解散し、次の正時に再集合）					現地本部 開設支援 (2名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■深夜から早朝や土日祝に発災した場合                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成員不在の可能性が高い</li> </ul> </li> <li>■夕方（退勤時）に発災した場合                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成員不在の可能性が高い</li> </ul> </li> </ul>	
4		【STEP4】 現地本部立ち上げ	AIS2階倉庫から機材を運び出し現地本部を設営 AIS閉館時は、北区職員が持参する鍵を使用する。						<ul style="list-style-type: none"> <li>■AIS閉館時、深夜から早朝に発災した場合                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設が閉館していて、本部設置場所がすぐに利用できない可能性あり</li> </ul> </li> </ul>	
5		【STEP5】 役割分担	班編成					活動支援		
			区への 活動開始 報告							
6		【STEP6】 情報収集	情報収集 活動指示	担当地域へ 移動	情報整理の備品の準備等				<ul style="list-style-type: none"> <li>■深夜から早朝・平日夕方（退勤時）・土日祝に発災した場合                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・区外事業者施設や営業時間外の施設は、一時滞在施設として利用できない可能性あり</li> </ul> </li> </ul>	
7		【STEP7】 情報整理	情報収集班への報告指示	情報収集・ 報告	連絡票等の作成 連絡票等をもとに大判地図に情報整理	一時滞在施設までの誘導ルート を決定				
8		【STEP8】 滞留者への 情報提供・誘導	情報提供・誘導のフォロー			情報提供	情報提供・ 誘導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■夕方（退勤時）に発災した場合                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅困難者の発生が多い可能性あり</li> </ul> </li> </ul>		
9		【STEP9】 現地本部の縮小	縮小指示	縮小				引継ぎ		

# 3-7. 現地本部設置場所・イメージ

## ＜現地本部を設置する施設：AIS＞

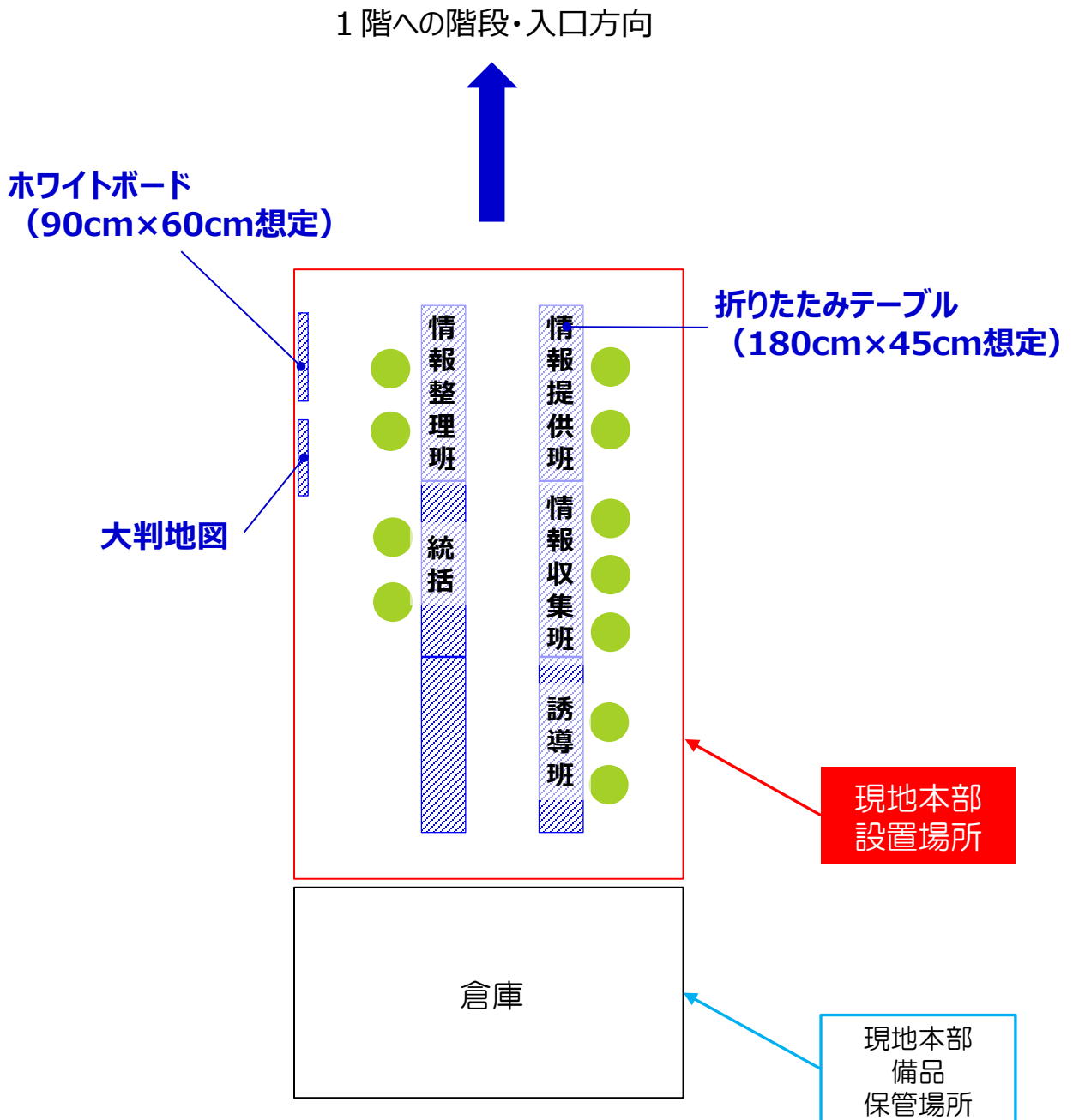


## ＜施設内の現地本部設置場所：AIS2階 イベントスペース＞



# 3-7. 現地本部設置場所・イメージ

## 【現地本部設営標準イメージ】



(凡例) ●: 構成員

# 3-8. 現地本部備品一覧

No	活用シーン	備品名	数量	保管場所	備考
1	現地本部 活動時	トランシーバー	5台	AIS2階倉庫	統括・情報収集班・誘導班との連絡に活用
2		トランジスタメガホン	2台		駅前拡声用
3		本行動ルール	2部		
4		防災地図	2枚		
5		赤羽駅周辺地図 (滞留者配布用)	300枚		
6		赤羽駅周辺地図(大判)	3枚		
7		情報発信用チラシ	300枚		キタコンDX案内等掲載
8		ラミネートしたチラシ	1枚		チラシが不足した場合に撮影してもらう
9		駅前掲示用ポスター(A2)	各3枚		帰宅困難者情報が分かりやすいもの(2種類) JR赤羽駅北・南改札の2ヶ所分と予備分
10		記録票	各20枚		被災状況を記録する様式1~5
11		スケッチブック	2冊		1冊:24枚入り・A4
12		油性マジック	各2本		黒・赤
13		2色ボールペン	3本		
14		ホワイトボードマーカー	各2本		黒・赤・青
15		マグネットクリップ	8個		記録表の貼り付けに使用
16		はさみ	1本		
17		単三電池	40本		
18		養生テープ	2個		設営に活用
19		ガムテープ	1個		設営に活用
20		スズランテープ	1個		
21		ピブス	11着		統括・情報収集・情報整理・ 情報提供・誘導の5色
22		チラシスタンド	1台		JR赤羽駅 改札内
23	休憩時	アルミ毛布	3枚	AIS2階倉庫	

# 3-9. チラシ・ポスター (イメージ)

配布チラシ  
(A4両面)

裏面

## LINEから最寄りの一時滞在施設の検索や 施設へのチェックインができます

### 【STEP 1】LINEアカウントの表示

LINEの友だちリストから「**帰宅困難者対策支援**」を検索、表示ください。

※カメラを起動し、右のQRコードを読み取っていただくか、友だち検索よりID番号「@157tdhuh」を検索ください。



### 【STEP 2】チェックイン登録

「チェックイン」マークを選択し、注意事項を確認の上、滞在者情報を入力ください。(以下**赤枠**)  
「チェックイン」する前に、**最寄りの一時滞在施設を検索**することもあります。(以下**水色枠**)

＜入力項目＞

- 一時滞在施設を選択 ※開設施みの施設のみ表示されます
- 「**現在地から絞り込み**」又は「**一時滞在施設名**」を入力して検索
- 氏名・ふりがな ※必須
- 郵便番号・住所 ※必須
- 電話番号
- 性別 男性、女性、回答しないから選択
- 年齢
- 年代を選択
- 職業 医療従事者、公務員、その他から選択
- 要配慮者
- その他、管理者に伝えておくべきこと
- スマホを持たない同伴者の人数

一時滞在施設検索をタップすると最寄りでの開設している一時滞在施設を検索できます

**チェックインをタップ**



### 【STEP 3】送信後、受付へ

入力完了し、内容を送信ください。  
送信完了後、受付にお越しいただき、画面をお見せください。以上で手続き完了です。  
※北区の施設においては、施設に到着して受け入れられます。  
※施設到着前に本システムで「チェックイン」をされていても、施設到着時に取客人数が満員に達している場合は、入館をお断りさせていただきますので、あらかじめご承知ください。

表面

## 災害に関する情報はここから！

### 北区防災ポータル・北区防災アプリ

北区では防災ポータル、防災アプリで防災情報を発信しており、公共交通機関の運行状況の確認ができます。避難情報発表や防災気象情報、停電・断水等の状況や防災無線の内容も確認できます。



東京都や埼玉県でも防災情報を発信しています。



東京都  
防災マップ



埼玉県  
防災ポータルサイト

## 最寄りの主な一時滞在施設は赤羽会館

最寄りの主な一時滞在施設は北区の施設である赤羽会館です。  
JR赤羽駅から徒歩5分のところにあります。



ハース図出典：北区防災地図（令和7年10月）





## 4. 卷末資料

### 目次

- |         |        |
|---------|--------|
| (1) 用語集 | 4-2    |
| (2) 資料集 | 4-3~14 |

## (1) 用語集

- **滞留者**  
発災時点で一定の範囲（例えば東京都内）に留まっている人
- **帰宅困難者**  
災害時に自宅から外出している者のうち、近距離徒歩帰宅者を除いた帰宅断念者と遠距離徒歩帰宅者のこと
- **近距離徒歩帰宅者**  
近距離を徒歩で帰宅する人
- **帰宅断念者**  
自宅が遠距離にあること等により帰宅できない人
- **遠距離徒歩帰宅者**  
遠距離を徒歩で帰宅する人

帰宅困難者 = 帰宅断念者 + 遠距離徒歩帰宅者

- **行き場のない帰宅困難者**  
帰宅困難者のうち、企業や学校などに所属しておらず、身の寄せ場のない人
- **一時滞在施設**  
行き場のない帰宅困難者を帰宅が可能になるまで一時的に受け入れる施設

## (4) 資料集

### 【目次】

#### 1. 情報収集用様式・資料

- ・様式1 連絡票（滞留・被害状況の報告用） 4-4
- ・様式2 鉄道運行状況 4-5
- ・様式3 一時滞在施設開設・  
集客施設受入整備状況 4-6
- ・様式4 現地本部-区 連絡用 4-7
- ・様式1～3の活用方法 4-9

#### 2. 情報整理用資料

- ・資料 ホワイボード記載方法 4-10

#### 3. 情報提供用様式・資料

- ・様式5 情報提供（掲示） 4-11
- ・資料 情報提供（呼びかけ） 4-12

#### 4. その他 参考資料

- ・JR赤羽駅構内図 4-13
- ・トランシーバー操作方法 4-14

## (4) 資料集

### 様式1 連絡票（滞留・被害状況の報告用）

確認時刻	月 日 時 分頃
確認者	
確認場所	<input type="checkbox"/> JR北改札付近 <input type="checkbox"/> JR南改札付近 <input type="checkbox"/> その他( )
滞留状況	<input type="checkbox"/> ①大混雑（人が通れない） <input type="checkbox"/> ②混雑（人が通れる） <input type="checkbox"/> ③混雑なし
危険個所	<input type="checkbox"/> ①火災 <input type="checkbox"/> ②倒壊 <input type="checkbox"/> ③支障なし <input type="checkbox"/> ④その他 ( )
その他の状況	

## (4) 資料集

### 様式2 鉄道運行状況

確認時刻	月 日 時 分頃
確認者	
鉄道路線	<input type="checkbox"/> ①JR京浜東北線 <input type="checkbox"/> ②JR上野東京ライン <input type="checkbox"/> ③JR湘南新宿ライン <input type="checkbox"/> ④JR埼京線 <input type="checkbox"/> ⑤東京メトロ南北線 <input type="checkbox"/> ⑥埼玉高速鉄道
運行状況	<input type="checkbox"/> ①運行停止 <input type="checkbox"/> ②一部再開 <input type="checkbox"/> ③平常運行 <input type="checkbox"/> ④不明
復旧時間	<input type="checkbox"/> ①数時間以内 <input type="checkbox"/> ②1日以内 <input type="checkbox"/> ③2日～3日 <input type="checkbox"/> ④3日～7日 <input type="checkbox"/> ⑤復旧時期未定
その他の状況	

## (4) 資料集

### 様式3 一時滞在施設開設・集客施設受入整備状況

[ 時 分 現在 ]

	種別	施設名	確認時間	開設・受入 整備状況 ○:受入可、 △:準備中、 ×:受入不 可、-:未確認	備考
例	一時滞在施設 ・ 集客施設	○○○○ 施設	HH:MM	○	N人程度 の受け入 れが可能
1	一時滞在施設 ・ 集客施設				
2	一時滞在施設 ・ 集客施設				
3	一時滞在施設 ・ 集客施設				
4	一時滞在施設 ・ 集客施設				
5	一時滞在施設 ・ 集客施設				

## (4) 資料集

### 様式4 現地本部-区 連絡用

[ 時 分 現在]

No	発信・受信場所及び 発信・受信者	時間	連絡・回答内容
例	【発信】 現地本部 赤羽 太郎	HH:MM	【連絡確認事項】 ・現地本部の開設について連絡した。
	【受信】 区 北区 三郎	HH:MM	【回答】 ・了解したとのことであった。
1	【発信】		【連絡確認事項】
	【受信】		【回答】
2	【発信】		【連絡確認事項】
	【受信】		【回答】

## (4) 資料集

### 様式4 関係 現地本部から北区への報告文例

#### 1. 参集人数の報告

「こちらは赤羽駅前滞留者対策協議会の□□（企業名・氏名）です。  
協議会構成員の参集状況について報告します。  
〇〇時〇〇分時点で△△名が参集しています。」

#### 2. 赤羽駅周辺の状況報告

##### ① 赤羽駅の公共交通機関の状況

「こちらは赤羽駅前滞留者対策協議会の□□です。  
赤羽駅の公共交通機関の状況について報告します。  
〇〇時〇〇分現在赤羽駅では△△と××が運行を停止しています。  
再開の見込みはたっていないようです。」

##### ② 赤羽駅の滞留者の状況

「こちらは赤羽駅前滞留者対策協議会の□□です。  
赤羽駅前の滞留者の状況について報告します。  
〇〇時〇〇分現在、赤羽駅前では滞留者がおよそ△△人発生し、  
滞留者が道路まであふれています（具体的に駅がどのような状況か説明）。」

#### 3. 現地本部設置の報告

「こちらは赤羽駅前滞留者対策協議会の□□です。  
現地本部の設置について報告します。  
〇〇時〇〇分時点で（設置場所名）に現地本部を設置しました。」

#### 4. 滞留者への対応についての報告や確認

##### ① 一時滞在施設の準備状況や開設判断

「こちらは赤羽駅前滞留者対策協議会の□□です。  
一時滞在施設の準備状況について報告します。  
〇〇時〇〇分時点で××と△△が一時滞在施設として滞留者受け入れの準備が整っ  
ています。  
一時滞在施設として開設するか判断願います。」

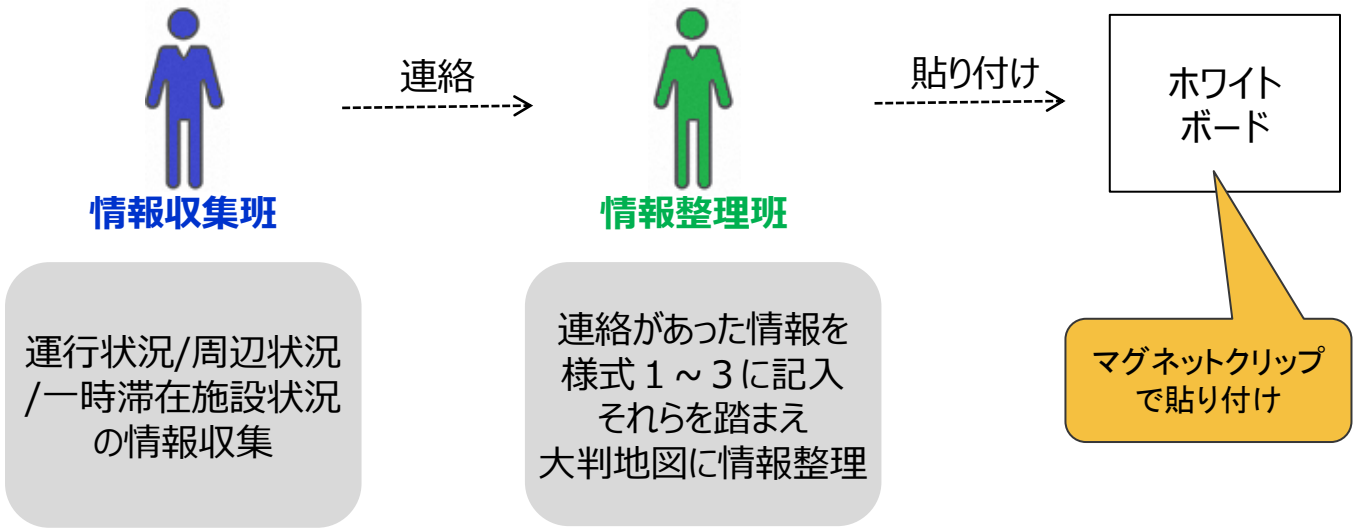
##### ② 一時滞在施設からの要望

「こちらは赤羽駅前滞留者対策協議会の□□です。  
一時滞在施設からの要望について報告します。  
一時滞在施設である××から■ ■を\* \* 個提供してほしいとの要望が届いています。  
提供可否の判断願います。」

# (4) 資料集

## 様式1～3の活用方法

### ■活用の流れ

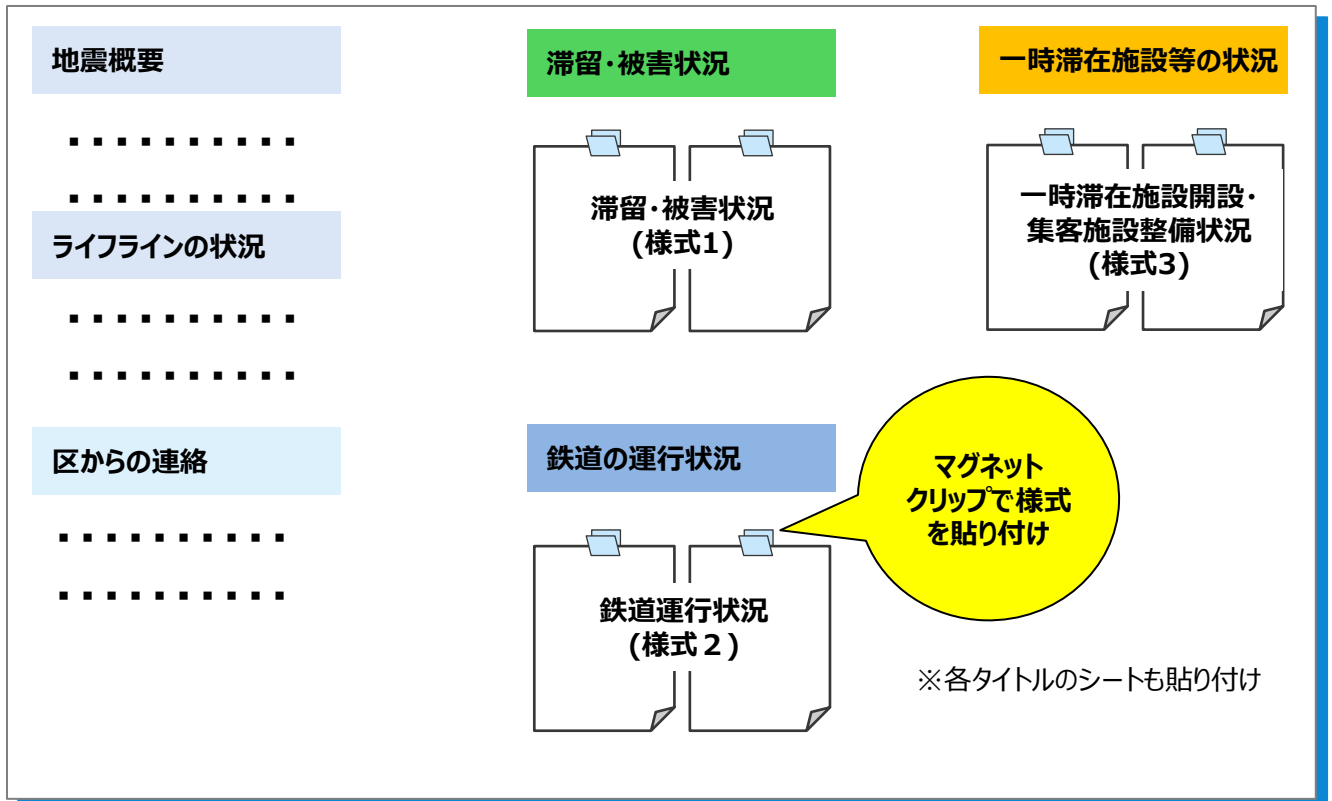


### ■大判マップの記入例



# (4) 資料集

## ホワイトボード記載方法



## (4) 資料集

### 様式5 情報提供（揭示）

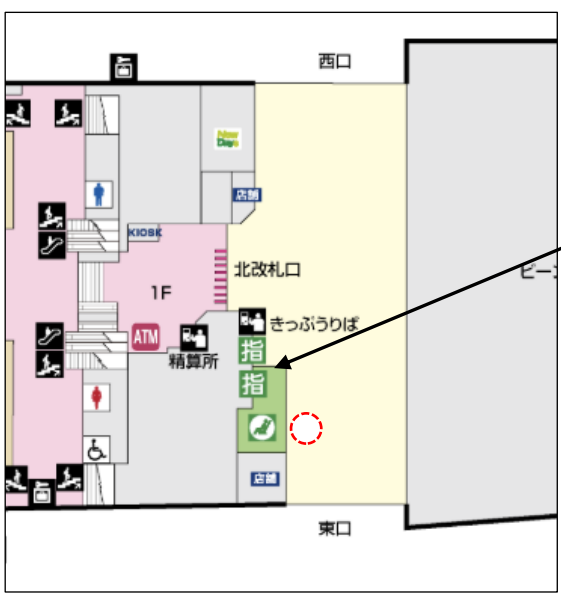
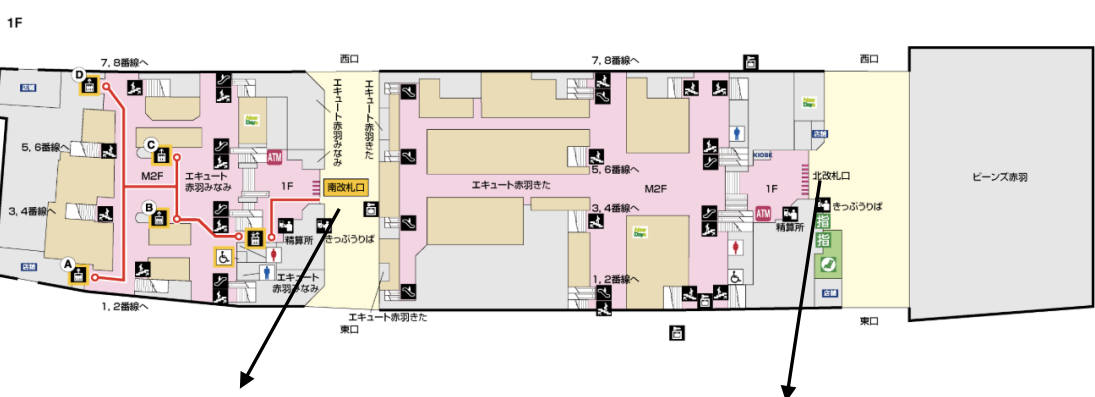
[ 時 分 現在]

	一時滞在施設名	開設状況 確認時間	開設状況 ○：受入可、△：準備中、 ×：受入不可、－：未確認	備考
1				
2				
3				
4				
5				





# (4) 資料集

## JR赤羽駅構内図



駅事務室

(凡例)

-  本部誘導班
-  バリアフリー移動経路

出典: JR東日本WEBサイト(令和7年3月現在)

## (4) 資料集

### トランシーバー操作方法



#### 【機器の説明】

- ①:電源 + 音量調節
- ②:チャンネル上下ボタン
- ③:発話ボタン

#### 【使い方】

- (1) ①のダイヤルを右に回して電源を入れます。
- (2) ②のボタンで通話相手と同じチャンネルにします。  
(通話相手が5chなら、5chに合わせる)
- (3) 発話するときは、③のボタンを押しながら話します。

# 赤羽駅前滞留者対策行動ルール

刊行物登録番号 7-1-107

発行年月 令和8（2026）年3月  
発行 東京都北区危機管理室防災・危機管理課  
〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22  
電話 03-3908-8184